ΤŢ

いちかわりは特物館だより

あたりまえの風景に あたりまえの生き物に あたらしいときめきがある!



撮影: 土居幸雄さん

市立

- P1 いきもの写真館
 - エゴツルクビオトシブミ
- P 2 観察ガイド 6月から7月のおすすめ ◎夕刻に舞う美しい蝶 ほか
- P3 街かど自然探訪
 - 島尻・堤防の上から
 - くすのきのあるバス通りから
 - のはなとハチの話題
- P4 近隣博物館めぐり
 - ○つくば市豊里ゆかりの森昆虫館

- 自然博物館の活動紹介
 - ●4月の散策会
- 自然博物館 スポットライト P 6 ハクビシン
 - わたしの標本
 - アカニシ
- P 7 わたしの観察ノート ◎3月~4月ごろの記録
- P8 行事案内



観察ガイド あ月から7月のおすすめ 8



夕刻に舞う美しい蝶

ーアカシジミ、ミドリシジミー

卵で冬を越し、葉が芽吹くのにあわせて孵化 したアカシジミ (写真:成虫) やミドリシジミ が、成虫となって姿を現わします。これらの種 類は、シロチョウ類やアゲハ類、あるいはヤマ トシジミやベニシジミにくらべるとなじみがな いかもしれません。それは、幼虫の餌が特定の



木の葉(アカシジミはコナラやクヌギ、ミドリシジミはハンノキ)に限られていて、それらの木が生える場所にしか生息しないことや、成虫の発生が年1回しかないこと、成虫の行動がおもに夕刻に限られていることによるものです。アカシジミは市北部の雑木林で5月下旬から6月上旬、ミドリシジミは大町公園で6月上旬から下旬にかけて見られます。

にぎやかな干潟のカニたち ーチゴガニ、ヤマトオサガニー

気温が上がり水温も上がる6月・7月は、干潟の生き物が活発に活動しはじめる季節です。江戸川放水路の干潟に行ってみると、高水敷の足元に広がる干潟で



チゴガニ (写真) が、白いハサミを上げ下げして飽きることなく求愛ダンスを繰り返しています。また、目線を少し水辺の方へ向けると、長い目が目立つヤマトオサガニが一面に広がっています。じっとしていると石が散らばっているようにしか見えませんが、じっくり見ていると、はさみをゆっくり動かして餌を口に運ぶ様子がわかります。

梅雨時に咲く花 ーネジバナ、ネムノキー

色とりどりの花に囲まれた春が終わり、梅雨に 入ると風景はしっとりとした緑に包まれます。こ の時期、思いがけずネジバナ (写真) やネムノキ の花に出会うことがあります。それらのピンクの 花は、深い緑を背景にとても引き立って見えます。



ネジバナは芝地に、ネムノキは公園や雑木林で見られます。



しまじり

島尻・堤防の上から

島尻といえば以前は工業地帯のイメージでしたが、現在は、高層マンションが建ち並びおしゃれな町に変わりまた。旧江戸川の堤防の上もきれいに整備されて、歩きやすくなっています。堤防の上からは、いろいろな風景が広がっています。堤防沿いには乗り合い船やレジャーボートがつながれ、上流を見ると大きな水門があり、新中川が旧江戸川に合流しています。対岸に見える水門は新川の入口で、荒川を横切り小名木川を経て隅田川までつながっています。下流を見ると、江戸川唯一の中州の島、妙見島があります。



△中央奥に見えるのが新中川の水門



くすのきのあるバス通りから No.55

はなとハチの話題

住宅地で、いい香りが漂ってきます。 みかんの花とジャスミンでした。エゴノ キやミズキ、ピラカンサの花も咲いてい ます。今は白い花が多いように思えます。 少し前は、フジやキリの薄紫でした。カ ラスビシャクのハナが咲いているので、 中を見ると小さいながら、下のほうにツ ブツブの雌花がありました。ノビルもも うすぐ花が咲くでしょう。里親になりプ ランターから地植えにしたフジバカマが、 2 m弱離れた石がごろごろした場所から

も出てきました。「地下茎で離れた場所 に生えますよ。ガレたところが好きみた い」と学芸員の方から聞きました。

「2階のベランダにハチの巣があった よ」と大学に入った息子が、親蜂と肉団 子と幼虫と卵が入った巣をビンに入れて 持ってきました。中心の部屋の幼虫は大 きく外側は小さいか卵のようです。しば らくしてみると肉団子がばらばらになっ ていました。

(M. M.)

近隣博物館めぐり つくば市豊里ゆかりの森



●TX線研究学園駅からバスに乗って

木々の緑が色濃くなり、昆虫と出会う機会も多くなりました。こんな季節に森と昆虫を観察しに、少し遠出をしてみませんか。 武蔵野線南流山駅でつくばエクスプレス線つくば行きに乗り換え、終点の一つ手前、

「研究学園」駅で降ります。周囲の田園風景に似合わない(?)近代的な駅舎を出るとすぐ前にバス停があります。2番乗り場からつくば循環バス(6 コース)に乗ります。午前中は、8時28分と10時48分です。

●豊里ゆかりの森へ

「ゆかりの森入口」というバス停で下車 します。研究学園駅から18分、運賃は200 円です。バス停からゆかりの森入口の案内 板が見えます。大通りを左側に分岐してす ぐ左に曲がり、細い道を進みます。両側は 水田です。その先に見えている森が「つく ば市豊里ゆかりの森」です。平成14年、 平地林保全整備事業として整備された、面 積 12ha のアカマツやクヌギなどの平地林 と水辺のある自然公園です。カブトムシや クワガタムシ、アゲハチョウその他の昆虫 採集や観察もできます。ここでは、里山の 生態環境を守って昆虫の保護増殖を進め ています。夏の夜にはホタルも飛び交い、 小鳥のさえずりが1年中聞こえる自然が いっぱいのつくば市の施設です。広い森の 中に、宿泊施設、キャンプ場、工芸館、野 外ステージ、ハーブ園などとともに昆虫館 があります。

●昆虫館に入ってみた

ゆかりの森の中ほどにログハウス風の

昆虫館があります。入口を入ると正面に展示室があります。1階が昆虫標本の展示です。上中下3段にびっしりと標本箱、その数は約200箱、標本数は約5000点だそうです。つくば産及び日本産、そして外国産の昆虫も数多く、クワガタの仲間、カミキリの仲間、チョウ・ガの仲間、セミの仲間、バッタの仲間、バッタの仲間、バッタの仲間、ボッタの仲間、バッタの仲間、ボッタの中間のは、ボッタの中間のは、ボッタの中では、ボッタの中では、ボッタの中では、ボッタの中では、ボッタののは、ボッタの中では、ボッタのでは、ボッタのでは、ボッタのでは、ボッタのでは、ボッタのでは、ボッタのでは、ボッタののでは、ボッタのでは、ボッタのでは、ボッタのでは、ボッタのでは、ボ

●標本展示以外にも見どころいっぱい

地階に降りていくと、小学生の観察日記 や自由研究が展示されている学習コーナーと生きている昆虫が展示されている飼育コーナーがあります。中でも生きている ヘラクレスオオカブトにはびつくりさせられます。さすがにすごい迫力です。 2階に上がると、図書コーナーとビデオコーナーがあり、図鑑など多くの図書を自由に閲覧することができます。



△森のほぼ中央にロッジ風の昆虫館がある (所在地) 〒300-2633 つくば市遠東 676 (電 話) 029-847-5061



散策会 暮らしの中の木々

平成19年4月15日(日) 午前10時~11時30分

国府台・真間地区にて (参加 大人30人、子ども2人)

●今回のテーマ

に歩いて楽しむ行事です。今回は「暮らし の中の木々」というタイトルで、生活空間 でありながら大きな樹木が数多く見られる 国府台・真間地区を取り上げました。散策 会なので特別なテーマはないのですが、あ えて言うなら森でも林でもない市街地に、 どのように大木が生育しているかを見るこ とがテーマになります。

●観察会の流れ

当日は、つぎのコースを歩きました。

里見公園正門 (集合)

- → スポーツセンター
- → 千葉商大周辺
- → 真間山弘法寺
- → 木内ギャラリー (解散)

里見公園では、導入ということで、正門 付近でソメイヨシノの苔むした太い幹を観 察し、そのほかちょうど咲いていたナシと フジを見ました。

スポーツセンターでは、ケヤキとイチョ ウの大木を見ました。千葉商大周辺では立 派なソメイヨシノの並木や、何本もあるエ ノキの大木を見ました。

真間山弘法寺では、境内のほうへは行か 散策会は、市内のさまざまな場所を気軽 ずに、幼稚園の入口でサトザクラを見まし た。そして解散地点の木内ギャラリーでは 大きなクスノキが林立する庭に入り、木々 に包まれたしっとりとした空気の感触を体 験しました。

> そのほか、道中、さまざまな春の野草も 見ることができました。

●ゲスト解説員

当日は、歴史博物館の池田真由美学芸員 にも説明をしてもらいました。国府台地区 が、古くは古墳や国府、城、近年でも軍隊 の駐屯地であり、戦後も軍用地は公園や学 校、病院といった公共施設になったとの解 説を受けました。歴史的に見て、一貫して 公的な用地であったことが、国府台地区に 大きな樹木が数多く残ったことの背景だっ たのかもしれません。



△木内ギャラリーの庭で



自然博物館 スポットライト

ハクビシン

モグラとヒミズの展示に替わって、ハ クビシンを展示しました。ハクビシンは 近年、市内で分布を広げており、鼻筋に 通った白い線と長い尾が特徴のジャコウ ネコ科の動物です。木登りが得意で、夜 間に塀の上を歩く姿や市役所の駐車場で 遊んでいる姿など多く目撃されるように なりました。最近では、住宅の天井裏を 駆け回ったり、糞尿でシミをつけられる 被害や梨やブドウを食害するなどの被害 がでてきています。



△鼻筋の白い線がポイント

わたしの標本

アカニシ

「アカニシ」は、北海道南部〜九州にかけての水深30m位までの内湾の砂泥底に生息し、アサリなどを食べている肉食性の巻貝です。殻の内側が名前のように赤く、殻の高さは10cmにもなります。

この個体は、市内に住む介川武夫さんが昨年6月12日に東浜近くの三番瀬で採集し、博物館に届けて頂いたものを標本にしたものです。殻の高さは8.7 cmで、内側の赤色がたいへんきれいな個体です。



△介川さんが採集したアカニシ



▶大町公園より

- ウグイスカグラが早くも満開でした (3/4)。近くに植えられたアセビも満 開でした。
- ・ハクビシンを見ました(3/11)。動物園 の券売所前にいたハクビシンは、垂直 にフェンスを駆け上がり、上の縁を小 走りに逃げていきました。
- アズマヒキガエルの卵塊がありました (3/13)。三角池や池から流出する水路 にたくさんありました。
- ・シュレーゲルアオガエルがクルル、ク ルルと鳴いていました(4/25)。

金子謙一(自然博物館)

・スジグロシロチョウを見ました(3/1)。 スイセンの花に羽化したばかりのスジ グロシロチョウが来ていました。

小川 晃 (自然博物館)

- ・ツマキチョウが姿を見せました(4/1)。
- 以上 土居幸雄さん (大町在住)

▶大町周辺より

・ツバメが巣作りをしていました(3/29)。 ◆幸周辺より

◆大柏川沿いより

(3/21)。今年は、サクラとコブシの花 が同時に楽しめます。

宮橋美弥子 (自然博物館)

◆八幡周辺より

・タヌキを見ました(4/12)。家の庭を 悠々と歩いて捨てておいた夏みかんを 食べていました。

杉山菊雄さん(八幡在住)

ハヤブサを見ました(4/19)。JR本八幡 駅近くのビルの屋上付近でカラスを追 い散らす行動をとっていました。

◆じゅん菜池公園より

・アカゲラを見ました(3/10)。 ハリエン ジュの木を上へ移動していました。

◆里見公園より

・キビタキの囀(さぇづ)りを聞きました(4/ 29)。オオルリの囀りも聞こえました。

◆坂川旧河口周辺より

- ・キジを見ました(3/4)。オギ原から高 く飛び立っていきました。
- ・ツバメを初認しました(3/31)。
- オシドリが6羽きていました(3/14)。セッカを見ました(4/21)。オギ原のへ リで囀っていました。
- ・シオヤトンボの羽化を見ました(4/7)。 ・オオヨシキリがオギ原のあちこちで囀 っていました(4/28)。

以上 根本貴久さん (菅野在住)

早咲きのサクラにメジロが十数羽きて ・ソメイヨシノが数輪、咲いていました かわいい声で鳴いていました(3/2)。

徳江靖子さん(幸在住)

暖冬と寒の戻りの影響で、コブシと桜と 梨の花が同時に見られた春でした。



行 事 案 内



自然観察会 お申し込みが必要な行事です。

市内の自然豊かな場所に行って、親子で楽しく自然観察をします。 定員:各回先着20名

テーマ 日時 場所 受付開始日 カニやヤドカリ 7月15日(日)午前 江戸川放水路 6月23日~

虫の声を聴こう 9月8日(土)午後6~8時 自然博物館周辺 8月18日~

〒申し込み方法 〒

往復はがきに、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、 参加したい行事名を明記の上、自然博物館までお申し込みください。

季節を感じる 散 策 会 お申し込みの必要はありきせん(南天中止)。

*集合場所など、詳しくは博物館に直接おたずねください。

テーマ 日時 場所

近郊緑地の自然 6月17日(日) 午前10時~11時30分 行徳近郊緑地

初夏の江戸川べり 7月8日(日) 午前10時~11時30分 里見公園~坂川旧河口

キツネノカミソリを求めて 8月 5日(日) 午前10時~11時30分 堀之内貝塚公園

長田谷津ボランティア

湿地の環境整備をお手伝いしてくださいませんか。)(南天中止)

- · 日 時 6月24日®、7月22日® 午前10時~12時
- ・集合場所 観賞植物園入り口
- ・はじめて参加される方は…湿地の中に入る作業もあります。作業内容や身支度、駐車場などについてご案内いたしますので、ご面倒でもまずは博物館にお電話でお問い合わせください。

野草名札付けのお手伝いをしてくださいませんか。(申し込み不事・南天中止)

- ・日 時 7月1日 (8月12日 年前10時~12時 (8月はお休みです)
- ・集合場所 観賞植物園入り口
- ・自家用車をご利用の場合は、博物館までお電話でお問い合わせください。

三属示 大町公園の ヘイケボタル

会場/観賞植物園 7月22日(B) ~8月5日(B)

> ホタルの生態を 標本やパネルなどで 紹介します。 :

市立市川自然博物館だより 第19巻 第2号 (通巻第110号) 発行日/平成19年6月1日 編集・発行/市立市川自然博物館 〒272-0801千葉県市川市大町284番地 書047(339)0477

http://www.city.ichikawa.chiba.jp/shisetsu/haku